

ダブルプレー

一 対象 高校生

二 主題名 地域社会の一員として

三 ねらい

地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

四 発達の段階と資料の特質

高校生は、社会へ参画し貢献する、自立した大人になるための最終的な移行時期にある。思春期を経て大人の社会を展望するようになり、大人の社会でどのように生きるのかという課題に対して、真剣に模索する時期である。これまでの学習活動で形成された世界観のなかに自らの住む地域を位置づけ、捉えなおすことが可能になる時期でもあるので、地域でおこったことさらに対する人のすがたを通して地域社会の一員としての自覚と郷土の発展に努める姿勢を育てたい。

本資料は、口蹄疫で家畜を失った友人を心配する主人公が、ともに学校生活を送る中で、地域を大切にし、地域を支える仕事に誇りをもつ友人の姿勢に共感し、自らの進路について考え始めるという内容である。二人の人物の心情を感じとることを通して、郷土の発展に努めようとする意識を高めさせることができる。

五 展開例

1 資料等を用いて、本県畜産が国内で重要な地位を占めることと、本県が被災した平成二十二年の口蹄疫の概要を知る。

2 資料「ダブルプレー」を読んで、話し合う。

(1) 昇は、浩二が部活動に来なくなったとき、どのようなことを思ったでしょう。

(2) 昇は、浩二が大切な家畜を失ったことに対して、どのようなことを考えたでしょう。

(3) 昇は、家の仕事を継ごうとする浩二に共感しています。彼が考えていることの、どこが素晴らしいと思ったのでしょうか。

3 企業見学やインターンシップなどで自分の住む地域の仕事を観察・経験し、感じたことを話し合う。

4 郷土の発展に日頃努めている方をゲストティーチャーとして招き、その方の思いについて話を聞く。

六 指導上の留意点

新聞記事などで、口蹄疫の深刻さと正しい知識を伝える。

本資料は「郷土愛」の指導を目的としているが、社会の一員としての自分を見つめさせ、今後の進路について考えさせるキャリア教育の資料としても活用できる。

七 参考資料等

本資料は「ドキュメント口蹄疫」(宮崎日日新聞社)所収の記事を参考にしてストーリーを構成した。